



令和6年度 協働パイロット事業

放任竹林を活用したしっぱーくんの
もぐもぐサポートプロジェクト

令和7年3月31日

受託者 NPO法人BASS plus

1.実施期間

令和6年7月5日～令和7年3月31日

2.実施概要

課題

現在、市内では放任竹林が拡大しており、生物多様性の低下や自然災害の誘発等、多方面に悪影響を及ぼしている。市内各地に放任竹林を整備するボランティア団体が点在しているが、活動資金の不足や担い手不足により活動の継続が危ぶまれている。

対して市内の人気観光地である日本平動物園のレッサーパンダの飼料（竹の枝葉）は市外業者から購入されており、飼料代や運搬費も高騰している。

解決

レッサーパンダの飼料と放任竹林整備の好循環（地産地消）による価値共創

市内の竹林整備団体が伐採した竹の枝葉を日本平動物園のレッサーパンダの飼料として活用し、市内で課題となっている放任竹林を活用することで、資料の地産地消及び飼料代の軽減にも寄与する。

竹林を整備する中で出てくる竹の枝葉は、現在活用方法がなく処分されるのみである。日本平動物園のレッサーパンダの飼料として活用することで、竹（枝葉）の新たな経済的な価値を創出する。

日本平動物園は静岡市の観光名所として多くの人が訪れる施設であり、特にレッサーパンダの全国の繁殖管理を日本平動物園が担っており「レッサーパンダの聖地」となっているため、注目度も高く、放任竹林を広く周知するきっかけ作りにもなる。

具体的な実施内容

① 日本平動物園との連絡調整

- ・ 竹の枝葉の持込日時や持込量等の連絡調整及びスケジュール化
- ・ 竹の枝葉の搬入団体との対応処理

② 竹の枝葉の供給システムの構築

- ・ 協力頂く竹林整備団体とのスケジュール調整のシステム構築とネットワーク化
- ・ システム運用に向けた関係団体との情報共有や説明会の実施

③ 各協力団体との連絡調整

- ・ 竹の枝葉の持込日時等の連絡調整及びスケジュールの共有
- ・ 竹の枝葉の持込に応じた動物園側との対応処理

3.実施内容報告

7月～8月のBASS plusによる搬入日程の振り返り

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクトのトライアル期間として、2024年7月～8月にNPO法人BASS plusにて、竹の枝葉の搬入を行った。

■2024年7月伐採の様子



■2024年7月 伐採後の搬入の様子



3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

静岡市環境共生課より竹の粉碎機をレンタルしている各団体に声かけをしていただき、本プロジェクトへの参加に興味をもつ方々に向けた事前説明会を開催。事前に質問事項等を募集し、当日その質問にも回答する方式をとった。レッサーパンダが食べる竹の枝葉についての説明や、搬入にかかる流れ、スケジュール調整について各団体の皆様に共有し、説明会の後、実際に枝葉の管理状況なども見学いただいた。その場で今後、スケジュールを調整するためのLINEグループに参加いただき、9月のスケジュール調整や搬入状況の連絡等に活用している。

■開催概要

開催日時	2024年8月5日 13:15～15:00
会場	日本平動物園 会議室
実施内容	■ 事業説明 ■ 飼料としての竹の枝葉の処理方法 ■ 運搬方法 ■ スケジュール調整等
参加団体	右記の通り

■参加団体一覧

事前説明会参加者一覧	
1	興津竹林整備の会
2	みかん山の会
3	とらねこ農園
4	大鈿自治会
5	学校教育川原地区社会福祉協議会
6	兄貴会
7	馬走の山道整備の会
8	池田二丁目林野管理組合
9	ホリデーの森
10	マウンテンパークプロジェクト
11	吉川氏 お知り合い
12	洞口竹を切る会
13	NPO法人おきつ
14	バンブスター
15	村松原自治会
16	自然農法研究会
17	谷津山再生協議会

3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

■事前案内

06 静環環共第 949 号
令和 6 年 月 日

竹林整備団体 代表者 様

環 境 共 生 課 長

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト説明会の実施について（通知）

日頃から放任竹林対策事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本平動物園にて飼育しているレッサーパンダの飼料に市内の放任竹林を活用する取組についてみなさまにアンケートを実施させていただきましたが、この度正式にこの取組について市の協働パイロット事業（採択事業名：レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト）として採択されました。

同事業についての説明会を下記のとおり実施いたしますのでご案内申し上げます。

記

- 1 日時 令和 6 年 8 月 5 日（月）13 時 15 から 15 時まで
- 2 会場 日本平動物園 会議室
- 3 内容 事業の説明、飼料としての処理方法、運搬方法など
- 4 出欠回答 以下の方法にて**令和 6 年 7 月 30 日（火）まで**に回答ください。
 - ①郵送または持参
参加者連絡票にご記入いただき、郵送いただくか、ご持参ください。
 - ②FAX 送付
参加者連絡票にご記入いただき、静岡市環境共生課まで FAX で送付ください。
宛先 F A X : 054-221-1492
 - ③メール
連絡票に記載の内容をメールにて回答ください。
メールアドレス : kankyou-kyousei@city.shizuoka.lg.jp
- 5 その他
 - （1）協働パイロット事業とは市民活動団体と市の協働を進めるため、市民活動団体からの提案を募集し、試験的に実施する事業です。
 - （2）本事業については NP0 法人 BassPlus が竹林整備団体の皆様と日本平動物園、環境共生課の連絡調整等を実施いたします。
 - （3）アンケート実施時にいただいたご質問については別紙の Q A を確認ください。

【お問い合わせ】

静岡市環境共生課 自然ふれあい係 大友
〒420-8602 静岡市葵区追手町 5 番 1 号新館 13 階
電話 : 054-221-1319 F A X : 054-221-1492
メールアドレス : kankyou-kyousei@city.shizuoka.lg.jp

3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

■事前質問事項と回答一覧

アンケートにていただいたご質問について	
質問	回答
笹(細い竹)は回収対象となるか	回収対象は笹(枝葉)の部分になります。
5年以上前の竹は受入不可ですか	3～5年の竹を好むため、5年以上だとレッサーパンダが好まない可能性があります。
竹の種類は何ですか	孟宗竹になります
最低搬入量はありますが	最低搬入量の設定は設けておりませんが、夏場と夏以外では消費量や鮮度の関係もあるため、時期によって搬入量の調整をお願いする可能性があります。
泥がついて洗って水が付いた状態でもいいですか	問題ありません
納品時間について条件を教えてください	受入できる職員の対応可能時間が前提となりますが、
搬入は平日のみでしょうか	土日も可能です
収穫予定の日が天候不良で難しかった場合、翌日でも対応可能か	天候などによる納品不可は懸念している事項です。在庫の状況により対応が変更になるため、対応を検討していきます。
1日40kgを消費しているという認識でよいか。 40kgの納品を予定していても確保できない場合どうすればよいか。	1週間で40kgの消費です。 納品予定の量から極端に少なくなれば問題ないかと思います。
原則、伐採した当日に搬入することなので17時、18時ごろまでの時間帯だと助かります。	時間帯によっては受入職員が対応できないため、受入時間についてはある程度指定する場合があります。

3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

■参加団体との連絡調整方法について

日本平動物園の搬入希望タイミングと参加団体から搬入可能日程を調整し、決定するためのスキーム構築として、いくつかの手法を検討した。

検討1 予約管理システム RESERVA

募集する期間をこちらで事前に設定し、各団体に参加可能日を予約してもらう形で実施するため、予約管理システムのRESERVAを検討した。

作成、運用まで無料で管理できるシステムではあるが、本プロジェクトにおける活用を考えると有料タイプ（月額6,000円）への変更を検討する必要があることと、ある1団体が予約してしまえば他団体は希望を出すことができなくなってしまう等の懸念点から採用を見送った。



RESERVA 機能 対応業種 料金 セミナー

無料で予約サイトを開設 お問い合わせ ログイン

予約システムで
ビジネスを
アップグレード

予約受付も顧客管理も、0円で。

無料で予約サイトを開設

資料ダウンロード

人間ドックの予約受付に最適なシステム

① レッパーくんのもぐサポプロジェクト

ホーム
About Us
お知らせ一覧
お問い合わせ

静岡市立日本平動物園は国内で飼育されているレッパーパンダの繁殖計画を立てる 繁殖計画管理者を任されています。世界で飼育されているレッパーパンダのうち約7割が日本で飼育されており、世界における日本の役割は重要である。また1989年には日本で初めて人工繁殖に成功した実績もある。2018年から「レッパーパンダの聖地・静岡市」として更なる発展を目指しています。

レッパーパンダの食事に欠かせないのが、野鳥の竹の葉（葉）です。動物園の敷地内にある「産芽竹」という竹を職員が切り、食事にしていますが、連綿の竹を切り続けるため竹が枯り、安定的に確保できなくなる可能性があると危惧しています。現在も、安定的な確保ができない時期は他園から仕入れている状況です。

対して、静岡市内には多くの産芽竹が存在しており、竹林を放牧していると、土砂災害の恐れや山の生態系を壊す恐れがあることから竹林整備事業をする市役所や団体が多数あります。しかし切った竹のアウトプットについて課題を抱えている 団体がほとんどです。

そこで立ち上がったのが日本平動物園のレッパーパンダに竹の葉を届ける「レッパーくんのもぐサポプロジェクト」です。

産芽竹の竹の葉を日本平動物園のアイドルであるレッパーパンダに届け、食べてもらうことで安定供給と産芽竹の両方の課題を解決します。

こちらのスケジュールは、竹の葉を届けてくださるNPO法人や竹資源団体の皆様へ日本平動物園に葉を届けた日付を申告いただくためのものです。

URL <https://ngo-banplus.com/>

所在地 静岡県静岡市駿河区

検討2 申込フォーム作成ツール formrun

申し込みフォームの作成ツールであるform runの使用も合わせて検討した。個別のメール返信数の限度等を鑑みると月額3,880円での使用となるが自動返信機能等本プロジェクトでのスケジュール調整として必要な要件は満たしていた。メールアドレスがないと使用できないこと、各団体の確認状況が見えないことから採用を見送った。



formrun

エンタープライズ版 ログイン 無料で使ってみよう

申込フォームを
最短30秒でカンタン作成

【無料】 フォーム作成・運用ツール
formrun
フォームラン

まずは無料で使ってみよう

3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

■参加団体との連絡調整方法について

日本平動物園の搬入希望タイミングと参加団体から搬入可能日程を調整し、決定するためのスキーム構築として、いくつかの手法を検討した。

検討3 LINE WORKSでのプロジェクトチーム形成

各団体の皆様に、通常のLINEとはまた別でLINE WORKSのアプリを入れていただき、カレンダー共有で連携していくことを検討した。

実際に各団体の話を直接聞いてみると、スマートフォンをあまり使いこなしていないという団体さんなどがいること、LINEは使用しているがLINE WORKSは使用したことがないためわからないといった意見を鑑みて、使用を見送ったが、BASS plusとしては活用し、各団体との連絡に活用することとした。



LINE WORKS 最大の特徴

LINEのように、だれでも使えて教育の時間がほとんど必要ありません。管理機能により、コミュニケーションの活性化と安心なビジネス環境を両立します。

- 国内利用 35万社
- LINEとつながる唯一のビジネスチャット
- 管理もできて安心なセキュリティ

教育コスト不要 ITリテラシーを問わずだれでも使えるサービス

社内だけでなく、お客様とお取引先とのコミュニケーションもLINE WORKSひとつで完結

金融機関も認めるセキュリティを徹底提供 お客様の情報をお守りします

検討4 通常のLINEグループの活用×電話等の連絡

BASS plusが活用することを決定したLOVE WORKSと、一般のLINEを合わせたLINEグループを作り、説明会に参加いただいた皆様にグループに入ってもらい、スケジュール調整に活用することとした。

スマートフォンの活用に対して不安を感じている団体様についても、通常のLINEを使用している方は多く、またスマートフォンを持っていない団体様については電話連絡等で連絡を取ることとした。



3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

開催当日の配布資料（一部）

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

竹林整備団体様 説明用資料

改訂版

2024年8月5日

BASS+

1.はじめに

「レッサーパンダの聖地」静岡市

静岡市立日本平動物園は国内で飼育されているレッサーパンダの繁殖計画を立てる種別計画管理者を任されています。世界で飼育されているシセンレッサーパンダのうち約7割が日本で飼育されており、世界における日本の役割は重要です。また1989年には日本で初めて人工哺育に成功した実績もあり、2018年から「レッサーパンダの聖地・静岡市」として更なる発展を目指しています。

レッサーパンダの好物「竹の枝葉」と市内の放任竹林にかかる課題

レッサーパンダの食事に欠かせないのが、好物の竹の枝葉です。動物園の敷地内にある「高宗竹」を職員が切り食事にしていますが、連年の竹を切り続けるため竹が減り、安定的に確保できなくなる可能性があると危惧しています。現在も、安定的な確保ができない時期は京都府から仕入れている状況です。

対して、静岡市内には多くの放任竹林が存在しており、竹林を放任していると、土砂災害の恐れや山の生態系を崩す恐れがあることから竹林整備事業をする市民や団体が多数あります。

しかし切った竹のアウトプットについては課題を抱えている団体がほとんどです。

2.レッパーくんのもぐもぐプロジェクトについて

そこで立ち上がったのがレッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

プロジェクトの概要について

レッサーパンダの聖地である静岡市、日本平動物園のレッサーパンダに、放置竹林伐採の際にでた竹の枝葉を食べてもらう試みを、持続的に運営していくことを目標としたプロジェクトです。現在、京都府から竹を仕入れているが、日本平動物園のスタッフが自ら山に入って切っている竹を、竹林整備団体の皆様からご提供いただききたいと考えています。

本プロジェクトは、静岡市の協働（イノバ）事業として実施されています。その事業内容は私たちNPO法人BASS plus（以下、当法人）が、日本平動物園、提供いただく団体の皆様との連携調整等を行うためのシステム作りであり、今後、当法人が日本平動物園からの竹の枝葉の提供体制を受け、竹林整備団体の皆様に提供希望日程をお知らせし、提供いただく団体を決出し、実施の調整やフォロー、管理などを行うというものです。

静岡市の協働（イノバ）事業として実施するのとは上記の内容までとなり、今年度においては、京都府からの仕入れ分を皆様の活動費としてすぐに配分するのは難しいのが現状です。ただし今後、このシステムが確立時に運営する見通しができ次第には、皆様に、一般企業の協賛を求め、いただいた協賛金を事業の経費として還元することを目指しています。すでに、本プロジェクトがうまくいった新に協力を検討下さっている企業もあるため、まずは皆様の協力を得ながら、本プロジェクトがスムーズに進行していくことが最優先事項となります。

すぐに活動資金をお渡りできるのがベストであることは重々承知しておりますが、皆様の協賛体制次第で実現するプロジェクトとなりますので、何卒ご理解・ご協力頂きますようお願い申し上げます。

一協働イノバ事業の概要図

レッサーパンダが食べる竹の枝葉の提供を依頼

竹の枝葉を安定的に確保したい日本平動物園

BASS+ 無料のシステムを開発

放任竹林を伐採している竹林整備団体

最善の案に出た枝葉を日本平動物園に提供

3.実施の流れについて

一実施にあたっての流れについて

今回、NPO法人BASS plusと竹林整備団体の皆様との連携調整はLINEによるものをご希望しております。参加を希望される団体の皆様は、後ほどご説明いたしますLINEグループに入ってくださいようお願いいたします。

NPO法人BASS plusのLINE WORKSと友だち登録をしていただき、こちらからLINEグループに招待いたします。

また本プロジェクトのWEBページを、当法人のWEBサイト内に制作予定です。そちらにスケジュールを表示し、いつ参加予定なのか、どの団体が参加するのか等を確認できるように予定です。本プロジェクトのWEBページは現在制作中のため、完成次第にご案内いたします。

実施にあたっての流れは下記のとおりです。

前月の初旬 前月の中旬 前月の下旬 前月の下旬 前月の下旬

NPO法人BASS plusより皆様へ参加希望日と参加希望日をお知らせする団体様を募集

担当して頂く団体様を決定しスケジュールに落としこむ

LINEにて担当くださる団体様をご連絡

担当くださる団体様は、参加決定日に日本平動物園へ竹の枝葉を搬入

搬入いただいた竹の評価などをBASS plusよりフィードバック

LINE WORKS

竹林整備団体の皆様とのご連絡はNPO法人BASS plusのLINE WORKSを活用します！

LINEを活用して、皆様各個人のLINEと繋がる事が可能ですが、当法人のLINE WORKSアカウントを中心として、さまざまなご連絡をさせていただきます。

4.LINEグループへの参加

本プロジェクトでは、皆様との連絡手段としてLINEを活用します。

本プロジェクトに参加を希望される団体さまは、必ず2つのLINE登録をお願いいたします。

友だち登録 LINEグループに参加

NPO法人BASS plusのLINE WORKSと友だちになる

レッパーくんのもぐもぐプロジェクトグループLINE

一NPO法人BASS plusのLINE WORKSと友だちになる

今後の連絡や報告、情報にお伝えしたいことが発生した場合に、NPO法人BASS plusより皆さまへLINEにてご連絡をさせていただきます。こちらのLINEに必ず友だち登録申請をお送りください。登録が完了されましたら、団体名とお名前をメッセージにてお送りください。

本プロジェクトに参加されない場合も、BASS plusとのつながりを作ってください。本プロジェクト以外でもさまざまな連絡の可能性があると存じますので、友だち登録は是非ご検討ください。

LINE WORKS NPO法人BASS plusのアカウント

一LINEグループへの参加

上記LINE WORKSとの友だち登録に合わせて、こちらのLINEグループへの参加をお願いします。本プロジェクトの連絡は基本的にNPO法人BASS plusのLINE WORKSを通じて行います。グループライン上でさまざまな連絡をやりとりさせていただきます。

※右記QRコードは、どなたでも参加できるQRコードです。プロジェクト関係者の方の登録をお願いいたします。また本資料の保管には十分にご留意ください。

レッパーくんのもぐもぐプロジェクトグループLINE QRコード

4.LINEグループへの参加（友だち登録の流れ）

一BASS plusと友だちになるまで

皆様には友だち登録と、LINEグループの両方を必ずお願いします。友だち登録していただいた後、LINEグループへの参加が確認できない場合、招待LINEをお送りしますので、登録に進んでください。

■登録の流れ

NPO法人BASS plusのLINE WORKSと友だちになる

「LINEを使用」をタップ

LINE WORKSと友だちになる

「追加」をタップ

友だち追加にはNPO法人BASS plusよりグループLINEへの招待LINEを送ります。

友だち登録したのにLINEが来ない場合は、メッセージの送付が滞っている場合があります。お手数ですがメッセージ等を送付して招待LINEの送付を確認してください。

「参加する」をタップで参加完了

3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

開催当日の配布資料（一部）

6. レッパーくん用竹の枝葉搬入マニュアル 9

一搬入当日の流れ

1 搬入当日、日本平動物園に搬入の旨を電話にて連絡してください。

搬入当日、必ず電話にて搬入する旨を連絡してください。おおよその搬入時間も合わせて連絡をお願いします。

連絡先電話番号：054-262-3251（開園日）

TEL可能時間：8:30～17:15
開園日以外、TEL可能時間以外に電話をした場合、音声アナウンスで連絡先が案内されます。

電話例)

竹林整備 団体担当者	NPO法人BASS plusです。本日、レッパーバンドの竹の枝葉を13時30分頃に搬入予定です。
日本平 動物園	わかりました。飼育員に伝えます。 （飼育員へ無線） 本日13時30分頃にBASS plusさんがレッパーバンドの竹の枝葉を搬入してください。対応をお願いします。 （飼育員） わかりました。 本日の搬入お待ちしております。よろしくお願いします。
竹林整備 団体担当者	よろしくお願いします。

■ 搬入日の2日前までに対応ができなかった場合
▶事務局であるNPO法人BASS plus側にLINEで連絡をお願いします。
連絡があったタイミングで、他の団体に依頼をできるのであれば他の団体に依頼、またはBASS plus 対応します。対応できる団体がない場合は搬入なしの対応となります。

■ 天候などの理由で搬入日の前日～当日に対応ができなかった場合
▶日本平動物園には電話で、事務局であるBASS plusはLINEで連絡をお願いします。
前日の連絡でBASS plusが対応できる場合はBASS plusが、対応できない場合は搬入なしとなります。

6. レッパーくん用竹の枝葉搬入マニュアル 10

2 竹の枝葉を切ります。

レッパーバンドが好む3～5年目の竹を切り、枝葉を落とします。
レッパーバンドは下記の写真のような枝葉を好んで食べますので、参考にしてください。



レッパーバンドが好む枝葉

食べない枝葉のイメージ

枝部分が黄色い

枝部分が緑色

葉がたくさんついている

葉が少なく、葉が枯れている

竹の節の部分が黒い

竹の節の部分が緑色

3～5年の竹

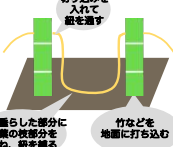
～2年の竹

3 枝葉を取ねます。

切った枝葉を、お渡しするビニール紐で縛り、束ねます。
1束の量に決まりはありませんが、運びやすい大きさで束ねて頂くをお願いします。

参考ですが、竹を束ねる時、当法人では下記のようなものを制作し、一定の大きさに束ねられるよう工夫をしています。

※次項目4の通り、地面につけずに運べる量を推奨いたします。



6. レッパーくん用竹の枝葉搬入マニュアル 11

一搬入当日の流れ（続き）

4 竹の枝葉を搬出します。

束ねた枝葉を搬出します。
その際、なるべく地面につけないように運んでください。
右記のように抱えて運ぶことをお勧めします。



5 軽トラックや軽バンなどに積み込みます。

搬出した竹を軽トラックや軽バンに積み込みます。写真のように平積みしてください。
軽トラックの場合、写真の量でおおよそ40kg程度、軽バンの場合も写真の量で40kg程度です。ビニールシートなどをひいて頂くことをお勧めします。

軽トラックの場合の40kg目安



軽バンの場合の40kg目安



6. レッパーくん用竹の枝葉搬入マニュアル 12

一搬入当日の流れ（続き）

6 動物園へ引き渡します。

軽トラックまたは軽バンに載せた竹の枝葉を動物園へと引き渡します。
事前連絡した搬入時間を目安に、指定の引き渡し場所へと向かい、竹の枝葉を動物園の職員へ引き渡します。
後日になりますが、竹を搬入する際に敷地内へスムーズに入るためのマグネットシートを用意いたします。搬入時、そちらを車の前方や運転席側のドアにつけて搬入をお願いします。

■ 搬入場所について

進入路図面



6. レッパーくん用竹の枝葉搬入マニュアル 13

一搬入当日の流れ（続き）

6 動物園へ引き渡します。 —レッパーくんのマグネットシートについて—

現在、レッパーくんのもぐくプロジェクトの搬入を伝えるためのマグネットシートを用意しています。皆様への配布は9月中旬～下旬を予定しており、準備が出来次第LINEにて連絡をいたします。
搬入当日は、車のおく見える部分にマグネットシートを貼り付けて頂くと言語員への説明が不要になるなどスムーズな搬入に役立ちますし、走っている最中のプロジェクトの宣伝にもなりますので必ず貼り付けて搬入をしてください。

マグネットシートの貼り付けイメージ

運転席側
わかりやすい場所に貼ってください。



マグネットシート
サイズ：A4程度

※マグネットシートのデザインは現在制作中です。
上記は貼り付けイメージとなります。



7. 本プロジェクトの連絡先について 14

本プロジェクトのLINE QRコード

■LINEグループへの参加

こちらのグループLINEへの登録をお願いします。



■BASS plusとの友達登録

こちらのLINE WORKSアカウントと友達登録をしてください。
各種連絡はこちらのLINEから行います。



日本平動物園 連絡先

電話番号：054-262-3251（開園日）8:30～17:15

静岡市環境共生課 連絡先

担当者：環境共生課 自然ふれあい係 大友
電話番号：054-221-1319

BASS plus 連絡先

担当者：知久、浅沼、今井

メールアドレス：npo.bassplus@gmail.com
WEBサイトURL：<http://npo-bassplus.com/>

3.実施内容報告

LINEグループによる各団体との連携

ーLINEグループの概要、スケジュール調整に至るまでのアンケート例

■LINEグループ概要

参加者数：17名

団体数：12団体

使用目的：本プロジェクトにおける
スケジュール調整や疑問点の共有、
各種連絡等



■スケジュール調整方法

1 スケジュールアンケート

2024年11月18日 月曜日

<https://works.do/FUDgd4r>

レッパーくんのもぐもぐ…

Period: ~11.25(Mon) 09:00

works.do/FUDgd4r



既読 16
09:24

おはようございます。
いつもレッパーくんのもぐもぐプロジ
ェクトへのご協力ありがとうございます！

12月分の調整をさせていただきます。

お手数ですが、11/25 までにご回答よ
ろしくお願いいたします。

既読 16
09:25

□アンケート例

記名

レッパーくんのもぐもぐプロジェクト12月分

NPO法人 BASS plus NPO法人BASS plus
24.11.18 09:00 ~ 24.11.25 09:00

- ☐ 12/1~12/7
- ☐ 12/8~12/14
- ☐ 12/15~12/21
- ☐ 12/22~12/28
- ☐ 今回は参加できない
- ☐ その他

提出する

3.実施内容報告

LINEグループによる各団体との連携

■スケジュール調整方法

2 スケジュール調整

く アンケート結果 

レッパーくんのもぐもぐプロジェクト12月分

NPO法人 BASS plus NPO法人BASS plus
24.11.18 09:00 ~ 24.11.25 09:00

回答 4

回答 4 未回答 0

12/1~12/7	1 (25.0%) >
12/8~12/14	1 (25.0%) >
12/15~12/21	0
12/22~12/28	1 (25.0%) >
今回は参加できない	2 (50.0%) >
その他	1 (25.0%) >

結果を共有する

結果を元にスケジュールを
BASS plusにて調整

3 スケジュール確定・連絡

2024年12月2日 月曜日

おはようございます！
BASS plus 浅沼です。
いつもプロジェクトへのご協力ありが
とうございます。

12月分のスケジュールをお送りしま
す。
よろしくお願いいたします。

既読 16



既読 16
10:13

12月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト						
月	火	水	木	金	土	日
2	3	4 静岡大学 ×BASS plus	5	6	7	8
9	10 静岡大学 ×BASS plus	11	12	13 兄弟会様	14	15
16	17	18	19 静岡大学 ×BASS plus	20	21	22
23	24	25	26	27	28 マウンテンパーク プロジェクト様	29
30	31	1/1	1/2	1/3 BASS plus 予定	1/4	1/5

同じグループLINEでスケジュール
を共有

3.実施内容報告

8月5日開催の事前説明会について

■事前説明会の様子



■枝葉の管理状況確認の様子



3.実施内容報告

9月～2月末までの実際のスケジュール

9月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 BASS plus	5	6	7 とらねこ農園様
8	9	10	11 馬走の山道整備の会様	12	13	14 BASS plus
15	16	17	18 兄貴会様	19	20 興津竹林整備の会様	21
22	23	24	25 近藤様	26	27	28 とらねこ農園様
29	30					

10月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト 確定版

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6 池田二丁目 林野管理組合様
7 兄貴会様	8	9	10	11	12 BASS plus	13
14 兄貴会様	15	16	17	18	19	20 BASS plus
21	22	23 馬走の 山道整備の会様	24	25	26	27
28	29	30 近藤様	31			

11月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 馬走の 山道整備の会様	5	6 近藤様	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16 マウンテンパーク プロジェクト様	17
18	19 兄貴会様	20	21	22	23	24
25	26	27	28 BASS plus	29	30	12/1

12月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4 静岡大学 ×BASS plus	5	6	7	8
9	10 静岡大学 ×BASS plus	11	12	13 兄貴会様	14	15
16	17	18	19 静岡大学 ×BASS plus	20	21	22
23	24	25	26	27	28 マウンテンパーク プロジェクト様	29
30	31	1/1	1/2	1/3 BASS plus 予定	1/4	1/5

25年1月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

月	火	水	木	金	土	日
12/30	12/31	1/1	2	3 BASS plus	4	5
6	7 BASS plus ×静岡大学	8	9	10	11 BASS plus	12
13	14	15	16	17 池田二丁目 林野管理組合様	18	19
20 兄貴会様	21	22 BASS plus ×静岡大学	23	24	25	26 BASS plus
27	28	29	30	31	2/1	2/2 BASS plus調整中

25年2月 レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

月	火	水	木	金	土	日
3	4 BASS plus ×静岡大学	5	6	7	8 マウンテンパーク プロジェクト様	9
10	11	12	13	14	15	16 BASS plus
17	18	19 馬走の山道 整備の会様	20	21	22	23
24	25	26	27	28	3/1	2
		BASS plus調整中				

3.実施内容報告

3月の実際のスケジュール

25年3月 レッパーくんのもぐサポプロジェクト

月	火	水	木	金	土	日
					1	2 マウンテンパーク プロジェクト様
3	4	5 馬走の山道 整備の会様	6	7	8	9
10	11 兄貴会様	12	13	14	15	16
17	18	19	20 近藤様	21	22	23
24	25	26	27 BASS plus	28	29	30
31						

実際の搬入の様子

各団体に協力いただくにあたり、 9月～10月にかけてBASS plusメンバーが各団体の伐採場所に出向き、枝はの選定方法などをレクチャーした。
12月からは静岡大学のボランティア学習の授業の一部として採用され、授業を履修した学生とともに3月にかけて毎月3回程度活動を行った。

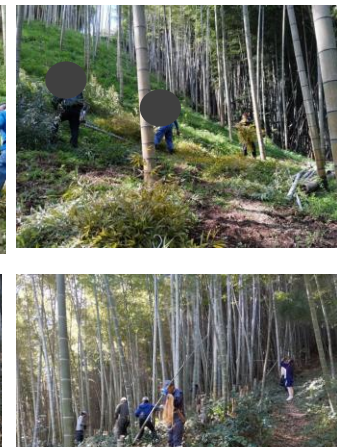
■BASS plusにおける伐採・搬入の様子



3.実施内容報告

実際の搬入の様子

■9月～10月 各団体へのレクチャーの様子



3.実施内容報告

実際の搬入の様子

■12月～ 静岡大学の学生とともに伐採する様子



3.実施内容報告

制作物

■WEBサイト URL：https://npo-bassplus.com/lepperkun/

TOPページ / レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト



レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクトは、静岡市の令和6年度協働パイロット事業に採択されました。

プロジェクトについて

もぐもぐサポーター

お知らせ

団体スケジュール

検索

ホームページ

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

公告

新着情報

お問い合わせ

ここはウィジェットエリアです。
[外観>カスタマイズ] ページ->「ウィジェット」パネル->「モバイルナビ下部」パネルから設定できます。

*このメッセージは編集権限のあるユーザーにのみ表示されています。



放任竹林が問題になっています

静岡市内には、多くの放任竹林が存在しています。竹林を放置していると、根が浅い竹は保水力がないことから土砂災害や、成長の速さから生態系を崩す恐れなど様々な懸念がありました。そこで立ち上がった竹林整備団体は100を超えていると言われています。

しかし、切った竹や枝葉を活用する方法が少なく、課題を抱えています。

そこで立ち上がったのが

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

そして静岡市内の企業の皆様に「レッパーくんのもぐもぐ応援団」としてご協力いただき、一丸となってレッサーパンダの聖地である静岡市を盛り上げようという試みです。

日本平動物園の竹の枝葉のニーズと放任竹林の枝葉の処理に困っている整備団体の課題をマッチさせたのが「レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト」です。竹林整備団体が切った竹の枝葉を、日本平動物園のレッサーパンダに食べてもらうことで、双方の課題を解決しようとして立ち上げました。

レッパーくんのもぐもぐ応援団の皆様

株式会社リトルビッグツリー

中部電力

静岡保険総合サービス株式会社

Coming soon

Coming soon

Coming soon

お知らせ

静岡新聞でレッパーくんのもぐもぐプロジェクトが紹介されました！
2024年8月20日

団体スケジュール

お問い合わせ

npo-bassplus.com

Contents

ホームページ

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト

公告

新着情報

お問い合わせ

Posts

レッパーくんのもぐもぐプロジェクト12月分

レッパーくんのもぐもぐプロジェクト11月分

レッパーくんのもぐもぐプロジェクト_10月スケジュール

Copyright © npo-bassplus.com All Rights Reserved.

Powered by WordPress with Lightning Theme & VK All in One Expansion Unit

3.実施内容報告

制作物

■マグネットシートデザイン



サイズ：
210mm×297mm
0.8mm厚

数量：
20枚制作

プロジェクト

■マグネットシート貼付の様子



3.実施内容報告

プロジェクト 報道による紹介

■8月20日 静岡新聞



■9月10日 静岡朝日テレビ とびっきり静岡2部



■10月25日 テレビ静岡
ご当地タイムズ



■12月13日 SBSテレビ
Liveしずおか



■12月14日 @Sしずおか
<https://www.ats-s.com/life/article/ats/1616201.html>



意見交換会 2月17日

事前案内



NPO法人 BASS plus

1.27(月)

おはようございます！
いつもプロジェクトへのご協力ありがとうございます。

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクトの回答は31日までとなっていますのでよろしくお願いいたします🙏

またこのプロジェクトについて、当初の説明会でもお伝えしておりましたが、意見交換会を実施したいと思っています。
日程は2/17月曜日の13:15～です。
2月から協賛企業の支援も始まり、本日日本平動物園にプロジェクトの看板を設置します。
皆様への還元手法等についても協議を進めていく段階かと思っています。
是非忌憚のない意見をいただきたく、お時間都合がつくようでしたらご参加いただけますとありがたいです。

参加可否のアンケートを作りますのでご回答のほどよろしくお願いいたします！

午前 9:50

記念

レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト意見交換会 2月17日月曜日 @日本平動物園

NPO法人 BASS plus NPO法人BASS plus

25.01.27 09:30 ~ 25.02.03 09:30

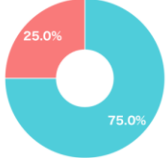
レッパーくんのもぐもぐサポートプロジェクト意見交換会 2月17日月曜日 @日本平動物園

NPO法人 BASS plus NPO法人BASS plus

25.01.27 09:30 ~ 25.02.03 09:30

回答 4

回答 4 未回答 0



参加する	3 (75.0%)
参加しない	0
その他	1 (25.0%)

提出する

開催概要

開催日時	2025年2月17日 13:15~15:00
会場	日本平動物園 会議室
実施内容	- 事業報告 - 改めて搬入いただく竹の枝葉のクオリティに関する共有 - 参加団体からの意見 - レッサーパンダ館の見学
参加団体	右記の通り

参加団体一覧

事前説明会参加者一覧	
1	興津竹林整備の会
2	兄貴会
3	馬走の山道整備の会
4	マウンテンパークプロジェクト

※マウンテンパークプロジェクトはオンラインにて参加

開催の様子



4. 成果と課題

【成果】

- 多い時で週に2回、少なくとも週に1回日本平動物園へ竹の枝葉を搬入した。
- 静岡市内で活動する放任竹林団体との各種連携が取れた。
- 1紙、3局のマスコミ取材あり、放任竹林の課題訴求に役立った。
- 取材されたことで、実際に活動に参加したいとの問い合わせが数件あった。
- 静岡大学との連携ができ、質の高い竹の枝葉の確保に貢献しながら若い世代に放任竹林の課題について共有することができた。静岡大学との連携については、部活やサークルを含め続けていけるよう模索していく。

【課題】

- 各団体が伐採しているエリアや季節によって、竹の質に差があるが、見た目のみで判断することが難しく、フィードバックに至っていない。
- 定期的に参加してくださる竹林整備団体が3～4団体のみ。
- 新たに参加いただける団体への広報ができていない。
- WEBサイト以外の発信方法がなかなか難しく、SNS等を含め今後展開していく必要があるが、各団体の搬入している様子の写真や動画などを収集する手段がない。